自然観察NOW

NO：３３
野幌森林公園自然情報
発行：２０１８年１０月１１日
北海道ボランティア・レンジャー協議会
ホームページ：
http://hokkaidou.me/volaren/

【　台風２１号の被害　】

台風２１号は北海道に接近した９月５日未明から早朝にかけて、道内全域に激しい雨と風をもたらしました。札幌管区気象台によると北大のポプラ並木を倒した２００４年の台風１８号や、「洞爺丸台風」と呼ばれる１９５４年の台風１５号などと類似点が多いといいます。統計開始以来の極値を更新した観測所の一つ江別では日最大瞬間風速３３．１m/ｓ、南南東の風向きとなりました。

野幌森林公園でも２００４年の台風同様、歴史を刻んでいる大木のハリギリ、ウダイカンバ、シナノキなども倒れ、特にトドマツの植林地は広くなぎ倒されました。陽射しを遮る森の風景が明るい空間に一変しました。今後、植物や動物、小さな生き物にとって、環境が変化してどんな生活空間になるか、とても気になります。（下野幌線　2018年9月5日撮影）

トドマツの植林地は大量の倒木で明るくなった。

ウダイカンバの大木も一気に倒れ、根が浅いことを改めて認識する。

一本のトドマツの大木が倒れ広いギャップができた。周囲には３メートル超のハウチワカエデ、シウリザクラ、ナナカマドなどの細い木が出番を待っている。

【ドングリ】

秋になりブナ科の木の実は総称としてドングリと呼ばれます。ブナ科コナラ属は北半球の温帯地方に広く分布しており、一部は中南米や東南アジアにも生育しています。コナラ属には**常緑樹**と**落葉樹**があり、各樹種とも大粒の堅果（ドングリ）をつける共通の特徴を持っています。

日本に自生しているコナラ属は大きく二つのグループに分けられます。ドングリの下についている殻斗（帽子）の鱗片が瓦のように連なっている**コナラ亜属**と、鱗片がくっついて同心の輪となっている**アカガシ亜属**があります。コナラ亜属はさらに花が咲いた年にドングリが熟す**コナラ節**と花が咲いた翌年にドングリが熟する**ウバメガシ節**と**クヌギ節**に分けられます。北海道にはコナラ節のミズナラ、モンゴリナラ、カシワ、コナラが分布しています。このうちモンゴリナラは日本に分布していないともいわれています。

①　ミズナラ

北海道の森林で普通に見られる樹種で全道各地に分布。

②　モンゴリナラ

日本には自生していないとの説もありますが、日本海側、オホーツク海側の北部に生育。

③　カシワ

塩風の害に耐性があり、また乾燥した土壌にも強い。海岸と火山灰の堆積している内陸に生育。

④　コナラ

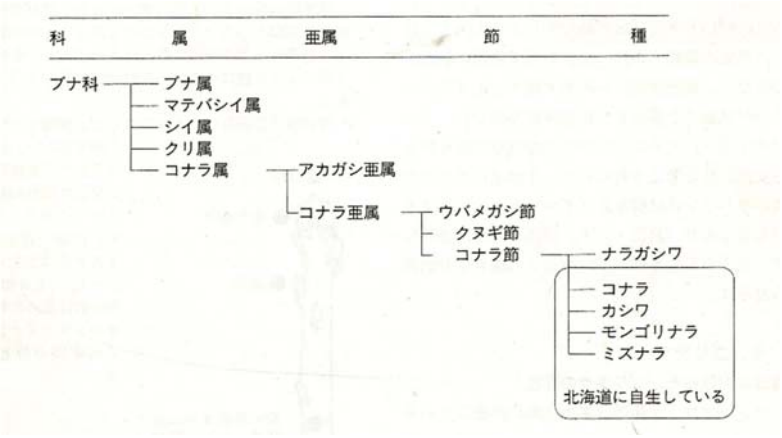
本州においてもミズナラより温暖な低標高地に多い、胆振、日高地方を中心に生育。

ミズナラ

モンゴリナラ

カシワ

コナラ



日本に自生しているコナラ属樹種の分類

北海道に自生している各樹種は、コナラ属―コナラ亜属―コナラ節に所属しています。

ドングリはクマ、シカ、サル、イノシシ、タヌキ、リス、ネズミなどの動物、オシドリ、アオバト、カケスなど鳥の大切な食料となります。ドングリは何年かに一度、大量に実ると、その次は少ししか実りません。毎年たくさん実ると、ドングリを食べて動物が増えせっかくの実も食べられてしまいます。しかし実り具合を不定期に変動させれば、不作の後には動物が減り、そこで大量に実ると大半が食べられずに残るという植物の戦略と考えられています。

観察会予定

１０月２１日（日）晩秋の森観察会（約８キロ）	10：00～14：30	自然ふれあい交流館集合
１１月　４日（日）秋のありがとう観察会	10：00～12：30	自然ふれあい交流館集合
１１月２３日（金）西岡水源地自然観察会	10：00～12：30	西岡公園管理事務所前集合

資料；「北海道におけるミズナラの分布と資源量」北海道立林業試験場（1998）

文責：内 山 恭 子